



# 市長と

# 車座トーク

## 第8回 能登原学区（概要）



開催日時 2017年（平成29年）1月28日（土）

15:30～16:30

開催場所 能登原公民館

参加者数 9人

次 第 市長のあいさつ

意見交換

地域からまとめのあいさつ



### <車座トークでの主なご意見>

- ・能登原学区としては、一番大きな問題は学校の統廃合です。小学校が無くなると、ますます若い世帯が移り住まなくなる。
- ・小規模校には小規模校なりの良さがああり、能登原小学校では、第11回環境美化教育優

- 良表彰事業で農林水産大臣賞を受賞。また、リデュース・リユース・リサイクル（3R）の推進功労校ということで、協議会会長賞をいただいている。子ども・学校の教職員・PTAさらには地域のボランティアが一体となって活動を担ってきた成果と思っている。
- ・地域を活性化させるのではなく、衰退させる政策というのはあってはならないことだと思っている。再考というか認識を持っていただければと思う。
  - ・子ども達と一緒に登校する活動を続けている。子ども達の繋がりも強いし、地域から子ども達の声がなくしてはいけないと切実に思う。
  - ・小学校がないと子育て世代が住まない。近い将来小学校が無くなるのではないかとの情報が聞こえると、もうすでに、地元に住んでいた親が他の学区に出ていく動きが見えてくる。この地域も「限界集落となっていくのかな」と危機感を感じている。
  - ・「能登原とんど」などの行事は、昔は子どもが中心になって山に入り藁そぐりをし、最後に大人の助けを借りて活動していたが、今では大人世代が中心で行っている。あらゆることに人口減少が影響し危機感をもっている。
  - ・いじめにあった子どもが能登原小学校に転校してきている。小学校を誇りに思っている。それくらい大事な小学校だ。
  - ・鞆の架橋は、何十年も前から楽しみにしていたが白紙撤回された。代替えの話もなかなか見えてこない。能登原の人はみんながっかりしている。
  - ・能登原学区は地域によっては鞆を通して福山に出るほうが近い。交通の便が悪い。バスが通り西回り・東回りのルートが実現したら通学もすごく便利になる。観光バスも鞆から来ない、能登原からも鞆へは行けない。交通の循環が必要である。
  - ・年々空き家が増加傾向にある。空き家を賃貸にすとか売却の話をしてでも高齢者になると消極的で個人での対応は難しい。土地を探している人がいても、売っている土地が広すぎ、若い人は1軒分の土地でいいので話がまとまらない。行政の方からサポート等してもらえないか。
  - ・耕作放棄地が増えて、イノシシ被害も増えている。「能登原とんど」の担ぎ手も少なくなっている。こうしたことが小学校の統廃合によってより顕著になってくる。
  - ・老後を若い人に頼れなくなると思い、団塊の世代の私達が元気な時に自分達のことは自分達で何とかしようとして有志でお茶サロンを立ち上げた。“動けなくなったら施設へ”ではなく、地域で支え、地域で看取るという時代になってくると思う。将来こんなはずではなかったと後悔するより、準備していてよかったと思えるように、日常生活の支援、ひきこもり防止など、できることから始めていきたいと思っている。
  - ・以前は町内放送（農協の有線放送）から色々な情報が得られたが、今は沿岸部のみ防災行政無線が3か所に取り付けられた。内陸部地域は聞き取りにくいので、何とか情報を得られるような形になればいいと思う。
  - ・災害で死者を出してはいけない。向こう三軒両隣で避難するようにしている。建物の下敷きになった時のために、隣保班にジャッキを配っている。災害から高齢者の命を守る取組、市民の命を守る取組を考えて対応してもらいたい。

- ・学校の耐震強度の実施が福山市は全国でも悪いとニュースで聞いたが、国からの補助金の期限が迫っている中で、福山市はできていない。何か意図があってしていないのか、なぜできていないのか。

### <市長のまとめ>

- ・60歳以上の世代はたくさん子ども達に囲まれて、年寄りも一緒に大家族で生活する時代を生きてきた世代。小学校が再編されていく、子どもが少なくなっていく寂しさを感じるのは私も同じです。
- ・教育問題だけにとどまらず、少子化、高齢化、さらには人口減少が加わる、全国的にそういう時代がしばらく続かざるを得ない。そういう時代が大きく変わる中で、今までと同じことを望むわけにもいかないだろうと思う。
- ・今までと同じことをしても地域は元気にならない。小学校が無くなる、子どもがいなくなる、それは地域にとっては大きな問題で、何があっても学校を残さないといけない、それも一つの正義、議論だと思う。かたや、子ども目線に立ってみると、もう少し色々な幅広い交流ができるような一定の規模の教育環境を確保してあげることこそ、子ども目線に立った考えではないかと言う議論もある。どちらが正義なのか、おそらく両方正しいと思う。だからこそ我々はこうして悩んでいる。我々がどういう時代をどう考えて生き抜いていくか、今までと違った考え方に立っていかないといけない思いがする。
- ・全国で毎年、統廃合や廃校が出てきている中で、学校が無くなったからといって、その地域はじっとしていない。例えば校舎の跡地をどういうふうに地域が活用するのか。新しい時代にあった地域の活性化を模索している。そういうことを考えながら私達はこの問題に取り組まないといけないと思っている。学校の再編についての検討は地域の人と一緒にになって議論しないといけない。
- ・子どもの安全の確保について考えると、子どもが減少した学校についても全部校舎を建て替えたり耐震補強したり、お金をかけていかないといけなくなる。かたや人口も納税者の数も税収も減っていく。それも考えないといけない。
- ・我々はみんな今まで満足がある意味してきた。それは経済が成長して税収も増えて、何でもやりたいこともできた。行政サービスがふんだんに提供していった。今度はみんなが満足していた時代から、納得しないといけない時代になってくる。納得するためには今までと違った考え方で、みんなが議論をして出口を見つけていかないといけない。それをどうやって進めていくか、そのためには信頼される行政でないといけない。
- ・地域にとって小学校をどう考えるかという議論と同時に、保護者のみなさんが自分の子どもの教育を考えると、再編の問題をどう考えるかという議論も一緒に入れながら議論していかないといけない。
- ・大雨災害の時も福山沼隈道路が不通になり、長い期間にわたって片側通行で大変な負担が沼隈の方々にかかった。だから災害時の迂回路という意味からも、そして韮経由で市内に出ていくという交通の利便性の観点からも、何とかそういう道を確保しないと

ないと思う。

- ・ 鞆の人達がまちづくりについて議論をしています。まちづくりについての大きな方向性を取りまとめられると思う。
- ・ 公共交通や空き家の問題とか色々ありましたが、いい言葉を聞いたと思う。「準備をしてよかったな。」と思えるように取り組んでおかないといけない、そのとおりだと思う。
- ・ 小学校の統廃合が地域の衰退に拍車をかけるという考えがありましたが、それも一つの正しい見方かも知れないですが、小学校が存続しても地域は衰退していきます。これからは今までと同じことをやっていれば自分達の人生は良いのだ、という同じ考え方からは脱却しないとイケない。僕も試行錯誤ですけれども、公共交通機関の確保も大きな課題で、これも今勉強し始めている。
- ・ 空き家の話ですが、今新しいやり方をスタートさせました。それは宅建業協会が間に入って新しい借手を探すというやり方です。空き家の持ち主を特定して、同意が得られると情報をオープンにして借手を探す。そういう空き家の情報があつたら福山市に教えて欲しい。福山市がお手伝いしますから。
- ・ 限界集落が本当に維持できるかどうかですが、外から人を呼ばばいい。これだけ風光明媚で自然が豊かで祭りや伝説もある。もっと発信してイケばいい。たとえば広瀬は、空き家対策で何人かは不登校の子ども達を呼んで空き家に住んでもらっている。内海は民泊をしている。そういうことをやらないと、今地域は新しい若い人が入ってこない。そういう取組も行政は支援していますので相談を持ちかけてください。
- ・ 放送が聞き取れないのはとても不安だと思います。場所の問題、地形の問題、そういうことが適切かどうか、本数が適切なかどうか、確認をさせてください。
- ・ 支援を求めている高齢者の方がどこにいるのか、しっかり把握しないとイケない。個人情報なので本人の同意も必要です。能登原はいざという時の要支援者の逃げ遅れがないような体制を整えていただいている。とても素晴らしいことだと思う。
- ・ 学校の耐震化ですが、大きく二つあって、既存の建物を残し、周りを強化する方法と、改築、建て替えの方法とある。耐震補強については今までの計画を前倒しでやっていく。建て替えもこれから毎年予算を重点配分していこうと思っている。
- ・ 全国から見れば耐震補強はまだ進んでいます。国の助成も続いてあるが、問題はいつまで続くかわからない。国の補助があるなしに関わらず、子ども達の安全のためだから急ごうと思っている。

## <地域からのあいさつ>

みなさん、ありがとうございます。今日はわざわざ市長においでいただきましてありがとうございます。意見は尽きません。人を大事にして、特に高齢者を含めて、人生よかったと言える、そういうふうな学区民にすべての人をしておきたいと思います。みんな小学校の問題、鞆の問題がすべてです。今日は良い学区民性を改めて感じました。

人を大事に、お互いにするように頑張りましょう。ありがとうございます。